

Advance

— 過去と未来を見つめる —

チャリティーイベントを終えて

昨年 8 月と 11 月、オンラインにてチャリティーイベントを開催いたしました。

COVID-19 の感染拡大の影響を受けて、本来開催する予定であったチャリティーコンサートは中止となってしまいましたが、例年はホールにいらっしゃることができない遠方のお客様もご参加くださり、すべてのイベントを合わせて約200名近くの方々が集まってくださいました。



8 月 23 日に中高生を対象に開催した「ブカツとベンキョーだけじゃない！大学生で始める国際協力」では、スペシャルゲストとして、上智大学総合人間科学部教育学科の小松太郎教授をお招きし、「紛争地域の難民や受け入れ国の子どもへの教育」をテーマにご講演を賜りました。また、国際ボランティア団体 VIDES 様に所属され、フィリピン初等教育支援を行われているジュリエット様からはフィリピンのコロナ禍の教育支援活動についてお聞きすることができました。さらに、「めぐこ」メンバーが大学生活や「めぐこ」の活動を通して感じていることを紹介し、その後は少人数での交流会を実施いたしました。

11 月に開催した「コロナと向き合う国際協力」では、内容や対象者を変えて 2 日に分けて行いました。

11 月 15 日は、国際協力や上智大学に興味のある中高生や大学生を対象として、交流できるイベントにいたしました。国際協力のケースワークを少人数でディスカッションをし、国際協力の楽しさと難しさを体験していただくことができました。

11 月 21 日は、OBOG や支援者様、国際協力に興味のある一般の方々を対象とし、「めぐこ」の歴史を振り返りながら、今後の活動について考えるイベントといたしました。スペシャルゲストとして、経済学部経済学科の教授であり、「めぐこ」の顧問でもあるジョン・ジョセフ・プテンカラム教授にご登壇いただき、「めぐこ」の歴史や理念の意義についてお話をお聞きすることができました。



これらチャリティーイベントにご参加して下さった皆様に心より感謝を申し上げます。

～イベント長より～

2020年度のオンラインイベントに関わっていただいた皆様、この度は誠にありがとうございました。

本イベントはコロナ禍で会場での集客ができない中、例年のチャリティーコンサートに代わるイベントとして開催いたしました。「Advance-過去と未来を見つめる-」というテーマを掲げて過去の「めぐこ」を振り返る中で、先輩方が積み重ねてきた信頼を改めて実感するとともに、コロナ禍という苦しい状況でいかに現地の子どもたちや支援者様とつながり、団体として前進できるかを考え準備を進めてまいりました。そうした中で、今回多くの方に「めぐこ」を知っていただく機会を設けられたことを大変うれしく思います。

今年も不安定な状況が続きますが、メンバー一丸となって前進できるよう励んでまいりたいと思います。

2020年度チャリティーコンサート長
渡邊勘太郎



昨年オンラインイベントにご参加およびご協力していただきました皆様に心より感謝を申し上げます。

45周年という節目を迎えて、「めぐこ」の歴史を振り返るとともに、今後の「めぐこ」存続に必要なことを見出し、前進していきたいという思いを込めて「Advance-過去と未来を見つめる-」というテーマを設定いたしました。イベントに向けて、メンバー一同で「めぐこ」の歴史に関する情報を集められたことはメンバーにとって「めぐこ」に対する意識を見つめ直す機会となりました。また、若い世代にも「めぐこ」のことや国際協力という関わり方があることを知っていただけたことをうれしく感じました。

今年度も皆様に活動報告や国際協力の魅力をお届けしていきたいと思っておりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年度チャリティーコンサート長
大木敬与